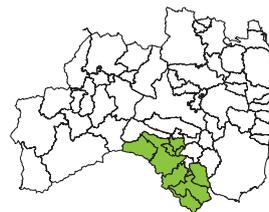


【県南コース】



豊かな自然、歴史、文化のふるさと
「ひがししらかわ」で

“地域医療体験”と“地域の住民と素敵な交流”を



【期日】 平成24年 8月29日(水)～31日(金) 2泊3日



【研修の概要】

- 1 地域医療現場の視察
東白川地域等の診療現場を視察します。
- 2 地域医療に従事する医師との懇談会
地域医療に従事する医師から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行います。
- 3 地域住民との交流
地域住民との交流を通し、地域の実情について理解を深めます。

【過去の研修風景】



健康教室



地域住民との交流



訪問診療同行



地域病院視察

【アピールポイント】

- 1 東北の最南端“みちのくの玄関口”福島県南地域は首都圏から新幹線使用で約2時間です。
- 2 茨城県と栃木県に隣接する東白川郡は、豊かな自然・歴史・文化の里山(ふるさと)です。
- 3 高齢社会と過疎化が進行する地域が求める「医師の人間像」を自分の目で認識してほしい。

【地域医療体験研修参加者の声】



今回、私は以前同じ企画に参加した先輩の紹介により参加を決めた。この研修は予想以上に有意義で、東日本大震災で大きな被害を受けている「ふくしま」に対する見方も大きく変わった。特に良かったのは、行政、個人病院、中小病院、大学病院、老人・障がい者施設など医療や福祉に関わる様々な方々のお話を聞き、直接議論を交わすことが出来たことだ。震災後、放射線の長期的な影響が懸念される中で、「福島は将来、長寿県になるだろう！」という福島県立医科大学の先生の言葉が印象的だった。すべての県民に毎年の検診が義務化され、今まで以上に病気の早期発見に繋がることによるそうだ。

自分の足で実際に、関心のある土地を訪ね、現地の方に直接お話を聞くということが、メディアや書物などによる情報よりも、ずっと生きた体験として自分自身を動かしていくものだと強く感じた。

この研修に参加した理由の一つは、私は福島県外出身(埼玉県)であり福島県の特徴や医療の実状を学生時代に知っておきたかったからです。この県南地域の研修で東白川郡と西白河郡、白河市の各地域の違いが理解できました。また、各病院の視察、特別養護老人ホームの見学等、各職員との討論で各施設の地域で果たしている役割を知ることができました。白河厚生総合病院は県南地域で唯一の総合病院であり二次救急を担当し、塙厚生病院は東白川郡において軽症や慢性疾患、精神病を診ていました。また、金澤医院は訪問診療・外来・入院など地域に密着しながら患者さんを診ているだけでなく、特別養護老人ホームと連携して、医療だけでなく介護においても重要な役割を果たしていました。

この研修で県南地域の特徴と各医療機関の協力体制を知ることができたのが、大きな収穫となりました。



【行程表】

※全行程バスでの移動となります。

8月29日(水)	[集合]福島駅西口 8:30発 → 8:55着 福島県立医科大学 9:00発 → 10:30着 新白河駅 10:35発 → 10:45着 白河市(オリエンテーション) 11:15発 → (昼食) → 13:35着 矢祭町(金澤医院視察) 14:35発 → 15:00着 塙町(塙厚生病院視察・医療従事者との懇談会) 17:30発 → 18:10着 鮫川村(医療従事者との夕食会) [鮫川村「ほっとはうす・さめがわ」宿泊]
8月30日(木)	(朝食) 8:30発 → 9:00着 鮫川村(研修・昼食・健康教室) 15:30発 → 16:00着 鮫川村(研修・夕食) [鮫川村「ほっとはうす・さめがわ」宿泊]
8月31日(金)	(朝食・研究発表会・周辺散策) 11:00発 → 11:20着 鮫川村(昼食) 12:30発 → 13:00着 浅川町(吉田富三記念館見学) 14:00発 → 14:50着 新白河駅 14:55発 → 16:25着 福島県立医科大学 16:30発 → 17:00着 福島駅西口[解散]